

日本発のアイデアで、win-win な開発途上国支援

TABLE FOR TWO 設立 15 周年

約 700 企業と連携し、累計 9,000 万食の給食支援、約 400 ヶ所の菜園設置

日本発、世界の食料問題の解決に取り組む特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International（以下、TFT）は、10月24日に設立15周年を迎えました。

TFT は、先進国の人々と開発途上国の子どもたちが食を分かち合うという仕組みを提唱し、開発途上国の栄養状態改善や教育機会整備、先進国では健康増進や肥満防止に貢献しています。この仕組みは日本人のアイデアから生まれ、社会貢献参画と健康増進が同時に叶う win-win な形であることが共感を呼び、現在は約 700 の企業・団体が参加。東アフリカと東南アジアの 5 カ国（ケニア、タンザニア、ルワンダ、ウガンダ、フィリピン）を中心に、学校給食の提供、そして菜園・生産性向上プログラムの支援を実施しています。この 15 年間で届けた支援先への学校給食数は累計で 9,000 万食以上、設置した菜園数も約 400 箇所へのぼります。

(URL <https://jp.tablefor2.org/>)



**「世界をうならせる日本発の国際貢献のアイデアを」
設立 15 周年記念 note で「設立から現在まで」の軌跡を発信中**

TFT は、飢餓と飽食という世界規模で起こっている相反する食の不均衡を同時に解決することをミッションに掲げ、2007 年に日本で立ち上がった NPO 法人です。「世界をうならせる日本発の国際貢献のアイデアを」と TFT 創設メンバーを含む日本人が知恵を絞り TFT のコンセプトが生まれました。

日本でも、学校給食は戦後の低栄養を乗り越える役割を担いました。支援先においても「明日学校に行ったら給食が食べられる」と安心して毎日を過ごせるセーフティネットとなっていたり、学校に通って教育を受けるきっかけとなっていたり、学校給食は子どもたちの成長に大きな影響を与えています。



■TABLE FOR TWO15 年のあゆみ

<https://note.com/tablefor2/n/n5350d679ce66>

15周年の記念日に TFT に参加できる！

おにぎり世界を変える「おにぎりアクション」開催中

おにぎりアクションは、日本の代表的な食である「おにぎり」をシンボルに、「おにぎり」にまつわる写真を SNS (Facebook, Instagram, Twitter)、またはおにぎりアクションの特設サイトに投稿すると、1枚の写真投稿につき給食 5 食分に相当する寄付 (100 円) を協賛企業が提供し、アフリカ・アジアの子どもたちに給食をプレゼントできる取り組みです。(URL <https://onigiri-action.com/>)

2015 年から開始し昨年までの 7 年間の開催で、累計約 125 万枚の写真が投稿され、約 680 万食の給食を届けています。(昨年は 1 日平均 8,500 枚の投稿がありました。)

■今年の開催期間：2022 年 10 月 6 日 (木) ~11 月 6 日 (日)

今年の協賛企業・団体は、5 年連続トップスポンサーを務める日産セレナを筆頭に過去最高の 37 が参画。多様性に富む協賛企業・団体とともに「おにぎりアクション 2022」を盛り上げ、Twitter で 2 週連続トレンド入りするなど、大きなムーブメントとなっています。

主な受賞歴：「アジア・マーケティング 3.0・アワード」(日本初)、ジャパン SDGs アワード外務大臣賞



特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International について (<https://jp.tablefor2.org/>)

2007 年 10 月設立。“TABLE FOR TWO”を直訳すると「二人のための食卓」。先進国の私達と開発途上国の子どもたちが食事を分かち合うというコンセプトのもと、社員食堂や店舗で TFT ヘルシーメニューを購入すると、代金の内 20 円が寄付となり、飢えに苦しむ世界の子どもに給食 1 食分をプレゼントすることができます。企業や官公庁、大学、病院など約 700 団体にご参加いただき、東アフリカと東南アジアの 5 カ国 (ケニア、タンザニア、ルワンダ、ウガンダ、フィリピン) を中心に、学校給食の提供、そして菜園・生産性向上プログラムの支援を実施しています。累計支援給食数は 9,000 万食以上です。

主な受賞歴：保健文化賞